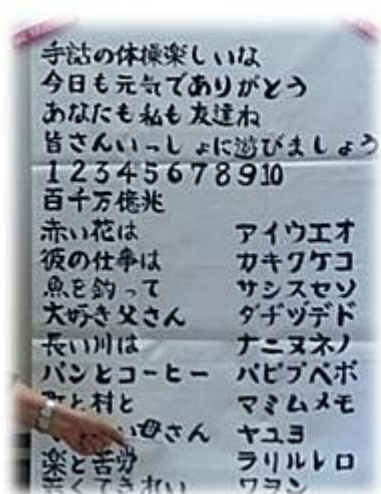


月曜昼の部 2017年6月12日

本日の参加者19人(内ろう者4人)



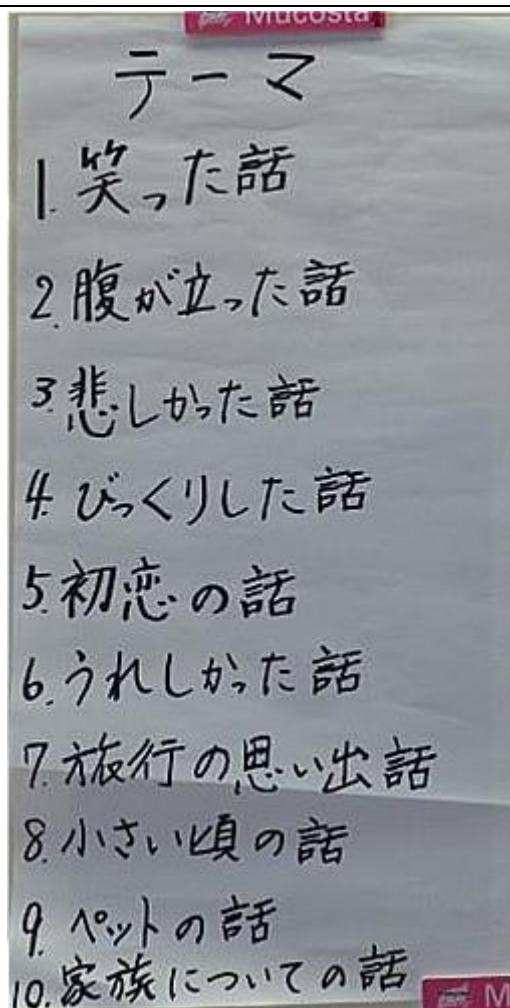
恒例の「手話の体操」





本日の学習会

1. 笑った話
2. 腹が立った話
3. 悲しかった話
4. びっくりした話
5. 初恋の話
6. うれしかった話
7. 旅行の話
8. 小さい頃の話
10. 家族についての話



以上から一つ選択して、手話で表わし、ろう者が評価する。

1. 笑った話

例1

森松地方の方言で笑っちゃいました。

帰ってこうわい⇒帰ること(帰ってまた来ると間違う)

行ってこうわい⇒行くこと(行ってまた来ると間違う)

ヒ⇒消して

そこに立つといて⇒閉めるの意味

バッホ⇒おもちの意味

せんない⇒それぐらいのこと。

3. 悲しかった話。

例1

悲しいやら面白いやら

痛くて痛くてたまらなくて病院にいった帰り、あまりの痛さにヘルメットを被るの忘れてバイクに乗る。運悪くおまわりさんに見つかった。そこで言い訳(本当の話)。今病院帰り、あまりの痛さにヘルメット被るの忘れまして。いまから被るので許してくださいとあって、若いお巡りさんに「今回だけですよ」と、許してもらったという優しいおまわりさんのお話し。

8. 小さい頃の話

例1

番町小学校5年生頃の話し

時は2月の寒い寒いある日。その日は参観日。珍しくプールの氷が張った。友達とふたりでプールに見に行く。

私は氷がどのくらいの厚さか恐る恐る氷を足でたたくが、友達は思い切り氷に踏みつけた。氷は割れて友達がプールに落ちる。手をつないでいた私も一緒にプールに落ちてびしょ濡れ。お母さんが家に帰り着替えを持ってきてくれて保健室で着替えることに。

で、一躍有名になる。恥ずかしい幼い日の思い出。



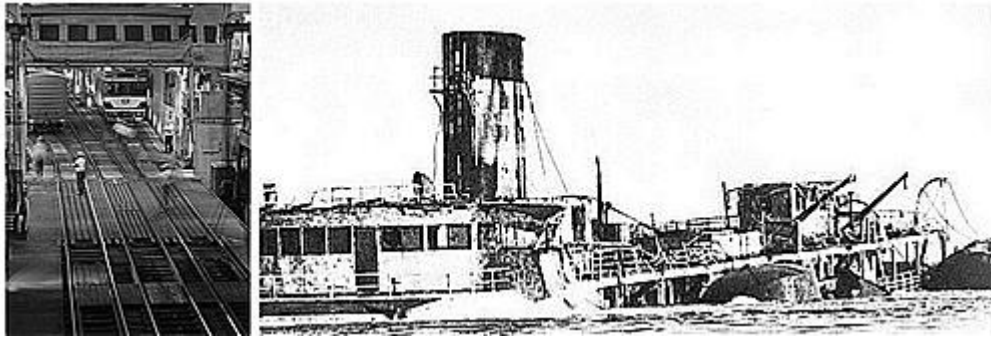
例2

小学生のころはじんぞう炎で病院通い。風邪ばかり引いていた。中学校時代は貧血で悩まされる。でも今は元気で山登りを楽しんでいる。

例3

私が小さい小さいころの話。昔々、宇高連絡船(高松～宇野間の鉄道連絡船)があった。栈橋と船の間にはレールが引かれ、汽車がそのまま船に乗り込んでいた(乗客が乗った客車の航送)。そんな時代がありました。

注:1955年(昭和30年)5月11日、濃霧の中、紫雲丸と第三宇高丸が衝突して紫雲丸が沈没し修学旅行の生徒・児童を中心に168人が死亡する「紫雲丸事故」が発生した。この事故を契機として、本四架橋(本州四国連絡橋)の構想が具体化した。また、この事故をきっかけに乗客が乗った客車の航送は中止された。



左:航送/右:沈没した紫雲丸

9. ペットの話

私の家には犬が4匹(ちわわ)います。ある日突然、一番元気のいい犬が立てなくなり、やがて寝たきりになった。獣医は、ぎっくり腰なのか、脳からくる病気なのか、MRIを撮ってみないとはっきりしないという。松山にはMRIの設備がある病院はない。紹介されて、5月の連休の最終日の土曜日に予約が取れて香川(善通寺)の病院に連れていくことになる。しかし、病室に入り、ゲージから出すと、なんとなんと突然歩き出した。もうびっくり。結局、元気な時にMRI撮っても原因の特定は難しいということで、その日は診察だけで帰ることになる。ちなみにMRI撮影代は保険がきかないので7万円とも8万ともいう。その犬は、今のところ元気。

そこで、犬は飼い主に似るといいますが、ともに「あわて者なのですな」との質問が飛ぶ>>??

犬4匹

元気な犬1匹

寝たきりに1週間

病院へ→きつり腰?

四国中央市(7万円) 脳 ?

MRI検査→香川の病院

↓ (8万円) 予約 連絡
病気の時しか (土) 油?

わからない